

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90220	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市木花児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	熊野字正蓮寺634	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和57年8月1日	17.市の計画	時期は決定していないが廃止の方向で検討中								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種低層住居専用地域		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏期休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。市内児童プールの中で最南に位置しており、木花児童センター、木花公民館に隣接している。標高3.2m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	748.50 m <sup>2</sup>				総延床面積	216.19 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	10808千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1982年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	630	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					
	開館日数	24	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済					
	利用率	26	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	142.5	872	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	1169.2	26	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	142.5	872	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	72.9	733	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.1	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90220	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	宮崎市木花児童プール	4.利用圏域別分類	地域

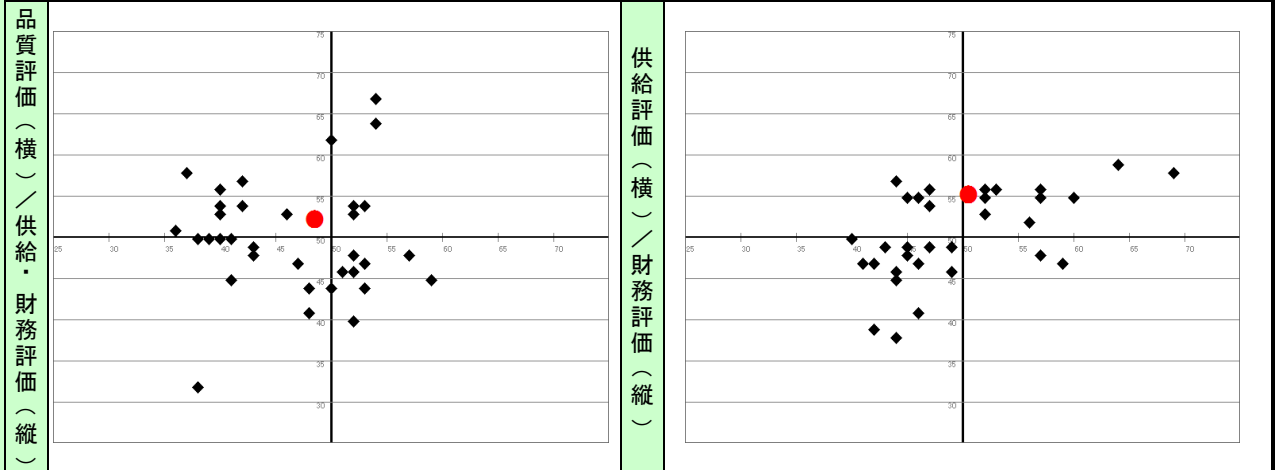
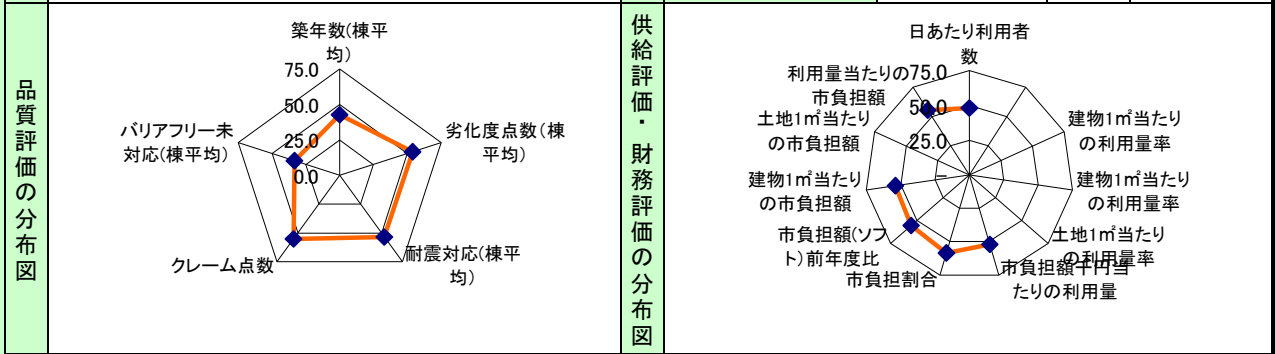
5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	B
	品質評価の評価(偏差値)	47.8
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	53.0

① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		築年数(棟平均)	39.000 年	42.8	29.900 年
		劣化度数点(棟平均)	0.700 件	54.0	1.500 件
		耐震対応(棟平均)	5.000 点	53.5	4.800 点
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点
		バリアフリー未対応(棟平均)	2.700 件	33.4	0.700 件
		評価値		47.8	

② 供給評価 利用量率の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		日あたり利用者数	26.000 人	48.2	30.000 人
		建物1㎡当たりの利用量率			
		建物1㎡当たりの利用量率			
		土地1㎡当たりの利用量率			
		市負担額千円当たりの利用量	1.180	52.1	0.987
		評価値		50.2	

③ 財務評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均
		市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %
		市負担額(ソフト)前年度比	67.900 %	55.5	93.656 %
		建物1㎡当たりの市負担額	0.280 千円	53.7	68.834 千円
		土地1㎡当たりの市負担額			
		利用量当たりの市負担額	0.848 千円	55.4	2.087 千円
		評価値		55.8	



## (2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90220	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市木花児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後39年経過している。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市木花地域センター、このはなスポーツプラザ、木崎水防倉庫、宮崎市消防団木花分団第2部消防団車庫、木花水防倉庫、宮崎市消防団木花分団第4部消防団車庫、宮崎市消防団木花分団第1部消防団車庫、木花地区社会福祉協議会事務所、宮崎市木花児童センター、木花小学校、木花中学校、熊野街区公園、権現山公園、木花台2号街区公園、木花台5号街区公園、木花公園、宮崎市木花公民館
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市木花児童センター、鏡洲小学校、木花小学校、木花中学校、学園木花台小学校、児童クラブ(学園木花台小学校・敷地内・校舎外)、鏡洲小学校(給食室)、木花小学校(給食室)、木花中学校(給食室)、学園木花台小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	木花地域センター・木花公民館から南に30mの位置にあり、施設から約120mの場所にバス停(木花郵便局前)が設置されている。施設の南約100mに県道塩鶴木崎線が開通している。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(木花) 【現在の人口】11,744人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90220	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市木花児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「処分」とし、機能の評価は「廃止」とする。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	処分(廃止)	
18	建物の評価の理由	今後、年少人口が減少することに加え、他の児童プールと比較して利用者数が少ない。また、隣接地には木花公民館が位置し、老朽化に伴う施設の複合化の検討が進められているため、当該敷地の有効活用を図るため、処分とする。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外するとき	なし	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	廃止	
21	機能の評価の理由	利用率が低いことから廃止とする。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外するとき	なし	

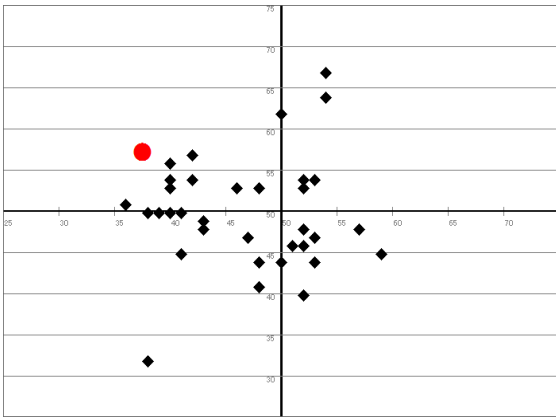
施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90080	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市楳児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	吉村町江田原甲266-2	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和43年6月30日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種低層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。楳保育所、楳中学校グラウンドに隣接しており、団体の利用が多い。更衣室が古く老朽化している。標高10.2m。		19. 内部								
											
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	540.01 m <sup>2</sup>				総延床面積	217.95 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	2500千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1968年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	1,116	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
	利用率	47	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>				
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	146.9	846	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	—	0	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	146.9	846	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	75.5	707	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.4	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課				33.施設主管課	子育て支援課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90080	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設					
2.施設名	宮崎市億児童プール	4.利用圏域別分類	地域					
5.基礎評価								
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B					
	品質評価の評価(偏差値)		36.6					
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		57.6					
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果 評価指標 令和3年度 偏差値 平均	築年数(棟平均)	53.000	年	31.7	29.900	年
			劣化度数(棟平均)	2.700	件	44.0	1.500	件
			耐震対応(棟平均)	3.000	点	18.9	4.800	点
			クレーム点数	5.000	点	55.2	4.500	点
			バリアフリー未対応(棟平均)	2.700	件	33.4	0.700	件
			評価値			36.6		
② 供給評価		指標の結果 評価指標 令和3年度 偏差値 平均	日あたり利用者数	47.000	人	58.1	30.000	人
			建物1㎡当たりの利用量率		人			人
			建物1㎡当たりの利用量率		台			台
			土地1㎡当たりの利用量率		人			人
			市負担額千円当たりの利用量	2.090		62.3	0.987	
			評価値			60.2		
③ 財務評価	③ 財務評価 建物1㎡当たり市負担額の評価が低い。	指標の結果 評価指標 令和3年度 偏差値 平均	市負担割合	42.960	%	58.5	65.618	%
			市負担額(ソフト)前年度比	70.400	%	55.0	93.656	%
			建物1㎡当たりの市負担額	89.000	千円	48.9	68.834	千円
			土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
			利用量当たりの市負担額	0.478	千円	57.0	2.087	千円
			評価値			54.9		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 					
								

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90080	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市憶児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後53年経過している。【評価指標】劣化度点数【原因】経年劣化による 塗装の状態不良や、更衣室のシロアリ被害などが生じている。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診 断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】利用料の徴収をしていない上、国や県の補助制度も 無い。
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市憶地域事務所、北消防署東分署、宮崎東諸県広域防災センター、宮崎市消防団憶分団第2 部消防団車庫、宮崎市消防団憶分団第3部消防団車庫、憶北小学校、憶中学校、憶小学校、鳥居 原団地、南窪団地、北ノ原団地、引土街区公園、新城街区公園、浮之城街区公園、天神前街区公 園、江田原ふれあい広場、案野山街区公園、選挙管理委員会車庫、児童クラブ(憶北小学校)、宮崎 市憶公民館
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市憶児童センター、宮崎東小学校、憶北小学校、潮見小学校、宮崎中学校、憶中学校、憶小学 校、宮崎港小学校、児童クラブ(憶北小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(潮見小学校・敷地内・校 舎外)、宮崎市田代児童プール
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	憶中学校の北側に通る市道江平一ツ葉線沿いにあり、施設から約50mの場所にバス停憶中前が設 置されている。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(憶) 【現在の人口】42,333人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90080	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市憶児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	



施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90100				3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設					
2.施設名	宮崎市恒久児童プール				4.利用圏域別分類	地域					
5.所在地(町名・番地)	恒久三丁目3				15.設置根拠法令	児童福祉法					
6.バス停					16.設置条例	宮崎市児童プール条例					
7.開設年月日	昭和44年7月25日				17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。					
8.施設運営形態(指定管理者)	直営				18. 外観						
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種低層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。住宅地の中にあり、城ヶ崎街区公園に隣接している。ゴミの投げ捨てやプール内の侵入など子どものいたずらが多い。標高5.7m。				19. 内部						
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童					20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m				
14.利用者駐車可能台数	0台					21.投票所の指定	無				
22. 土地情報	土地面積	540.00 m <sup>2</sup>				24. 建物情報	総延床面積	214.48 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地					取得価額計(開始時簿価計)	2710千円 (—)			
	土地所有形態	所有					階数・構造(主たる建物)	地上1階・鉄筋コンクリート・一部鉄骨			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					建築年(主たる建物)	1969年			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	432	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
利用率	18	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	142.1	875	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	1048.3	29	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	142.1	875	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	72.6	736	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.1	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課				33.施設主管課	子育て支援課					

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90100	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市恒久児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		37.7																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.5																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>52.000 年</td> <td>32.5</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数点(棟平均)</td> <td>1.300 件</td> <td>51.0</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>3.000 件</td> <td>30.9</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>37.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	52.000 年	32.5	29.900 年	劣化度数点(棟平均)	1.300 件	51.0	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	30.9	0.700 件	評価値		37.7	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	52.000 年	32.5	29.900 年																										
		劣化度数点(棟平均)	1.300 件	51.0	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	3.000 件	30.9	0.700 件																												
評価値		37.7																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>18.000 人</td> <td>44.2</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.809</td> <td>48.0</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>46.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	18.000 人	44.2	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.809	48.0	0.987	評価値		46.1			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	18.000 人	44.2	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.809	48.0	0.987																												
評価値		46.1																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>67.700 %</td> <td>55.6</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>35.600 千円</td> <td>51.8</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.236 千円</td> <td>53.7</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	67.700 %	55.6	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	35.600 千円	51.8	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1.236 千円	53.7	2.087 千円	評価値		54.9			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	67.700 %	55.6	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	35.600 千円	51.8	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	1.236 千円	53.7	2.087 千円																												
評価値		54.9																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90100	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市恒久児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後52年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が減少したため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	南宮崎駅自転車駐車場、宮崎市消防団赤江分団第1部消防団車庫、防水資機材地域備蓄津屋原倉庫、宮崎市消防団赤江分団第4部消防団車庫、宮崎市南部記念体育館、宮崎市恒久児童館、赤江小学校、赤江東中学校、恒久小学校、大淀団地、北原団地、古川街区公園、片平公園、水流田街区公園、城ヶ崎北街区公園、中ノ又街区公園、大藪街区公園、曲田街区公園、上池田街区公園、八重川街区公園ほか6施設
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市本郷児童館、宮崎市恒久児童館、赤江小学校、赤江東中学校、本郷小学校、国富小学校、恒久小学校、本郷中学校、赤江中学校、宮崎市希望ヶ丘児童プール、宮崎市飛江田児童プール
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道城ヶ崎清武線の城ヶ崎交差点から南西約100mに位置しており、施設から約100mの距離にバス停(城ヶ崎)が設置されている。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(赤江) 【現在の人口】34,438人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2040年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90100	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市恒久児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90110		3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設	
2.施設名	宮崎市上水流児童プール		4.利用圏域別分類	地域	
5.所在地(町名・番地)	大工二丁目83		15.設置根拠法令	児童福祉法	
6.バス停			16.設置条例	宮崎市児童プール条例	
7.開設年月日	昭和45年7月25日		17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
8.施設運営形態(指定管理者)	直営		18. 外観		
9.指定管理期間					
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。上水流街区公園に隣接しており、個人の利用が多い。ゴミの投げ捨てやプール内の侵入など子どものいたずらが多い。標高4.6m。		19. 内部		
					
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	660.00 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	399	—	—	—
	開館日数	24	—	—	—
利用率	17	—	—	—	
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—
	その他③	709	510.1	139	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	709	510.1	139	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	143.0	869	—
	施設のコスト	304	1321.7	23	—
	事業のコスト	189	196.9	96	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,243	143.0	869	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	73.2	730	—
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.1	84	—
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90110	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市上水流児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		38.6																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.3																												
① 品質評価	① 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>51.000 年</td> <td>33.3</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>1.700 件</td> <td>49.0</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.300 件</td> <td>36.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>38.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	51.000 年	33.3	29.900 年	劣化度数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件	評価値		38.6	
			評価指標	令和3年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	51.000 年	33.3	29.900 年																									
			劣化度数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件																												
評価値		38.6																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>17.000 人</td> <td>43.5</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.747</td> <td>47.3</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>45.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	17.000 人	43.5	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.747	47.3	0.987	評価値		45.4				
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	17.000 人	43.5	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.747	47.3	0.987																												
評価値		45.4																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>68.200 %</td> <td>55.5</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>2.094 千円</td> <td>53.6</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.338 千円</td> <td>53.3</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	68.200 %	55.5	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	2.094 千円	53.6	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1.338 千円	53.3	2.087 千円	評価値		55.2				
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	68.200 %	55.5	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	2.094 千円	53.6	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	1.338 千円	53.3	2.087 千円																												
評価値		55.2																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															
	供給評価・財務評価の分布図																														
供給評価(横) / 財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90110	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市上水流児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後51年経過している。【評価指標】劣化度点数【原因】プールサイドのすべり止めシートのはがれなどの劣化が生じている。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が減少したため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市小戸地域事務所、宮崎市消防局附属棟、和知川原水防倉庫、宮崎市消防庁舎(消防局・北消防署)、宮崎市自動車排出ガス測定局 高千穂通測定局、小戸保育所、小戸小学校、鶴島団地、小戸団地、千草街区公園、下水流街区公園、末元街区公園、上水流街区公園、高千穂街区公園、和知川原街区公園、宮崎市青少年育成センター
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	小戸小学校、小戸小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道宮崎須木線から大工町5号線を約250m西進した住宅街の中にあり、施設から約250mの場所にバス停(大橋3丁目)が設置されている。周辺道路は狭く車は離合できない状況である。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(小戸) 【現在の人口】10,493人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90110	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市上水流児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	



施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90120	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市霧島児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	船塚一丁目81	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和46年7月15日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。団体の利用が特に多く、霧島街区公園と霧島児童館に隣接しており、周囲の環境が非常に良い。標高7.7m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	214.28 m <sup>2</sup>				総延床面積	214.28 m <sup>2</sup>				
	現況地目	公園				取得価額計(開始時簿価計)	3120千円 (—)				
	土地所有形態					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1971年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	694	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
	利用率	29	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>				
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	19.4	6,409	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	5.4	5,628	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	609.7	31	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	19.4	6,409	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	0.6	5,597	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	8.5	6,270	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	43.9	98	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90120	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市霧島児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		40.5																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		53.5																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>50.000 年</td> <td>34.1</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数点(棟平均)</td> <td>0.000 件</td> <td>57.5</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.300 件</td> <td>36.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>40.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	50.000 年	34.1	29.900 年	劣化度数点(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件	評価値		40.5	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	50.000 年	34.1	29.900 年																										
		劣化度数点(棟平均)	0.000 件	57.5	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件																												
評価値		40.5																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>29.000 人</td> <td>49.5</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.300</td> <td>53.5</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	29.000 人	49.5	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	1.300	53.5	0.987	評価値		51.5			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	29.000 人	49.5	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	1.300	53.5	0.987																												
評価値		51.5																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>74.000 %</td> <td>54.2</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>2.145 千円</td> <td>53.6</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.769 千円</td> <td>55.8</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	74.000 %	54.2	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	2.145 千円	53.6	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.769 千円	55.8	2.087 千円	評価値		55.5			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	74.000 %	54.2	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	2.145 千円	53.6	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	0.769 千円	55.8	2.087 千円																												
評価値		55.5																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)																															

## (2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90120	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市霧島児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後50年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防局附属棟、和知川原水防倉庫、宮崎市消防庁舎(消防局・北消防署)、宮崎市消防団中央分団第4部消防団車庫、宮崎市北部記念体育館、中部事務所、宮崎市霧島児童館、宮崎西中学校、江平小学校、西池小学校、高千穂街区公園、和知川原街区公園、西霧島街区公園、中鶴街区公園、出水口公園、鶴田街区公園、霧島街区公園、丸山ふれあい広場、中津瀬街区公園、児童クラブ(江平小学校)、宮崎市宮崎西地区交流センターほか2施設
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市霧島児童館、宮崎西中学校、西池小学校、児童クラブ(西池小学校・敷地内・校舎外)、西池小学校(給食室)、宮崎市丸山児童プール
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	木花地域センター・木花公民館から南に30mの位置にあり、施設から約120mの場所にバス停(木花郵便局前)が設置されている。施設の南約100mに県道塩鶴木崎線が開通している。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(中央西) 【現在の人口】19,809人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90120	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市霧島児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	

施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90130	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市御幸児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	淀川三丁目43	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和48年7月15日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間			19. 内部		写真						
10.用途地域	第二種中高層住居専用地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。大淀街区公園に隣接しており、利用が多く、団体の利用が特に多い。標高7.0m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	495.00 m <sup>2</sup>				24. 建物情報	総延床面積	214.28 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	4206千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1973年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	982	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
利用率	41	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	146.2	850	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	7600.0	4	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	146.2	850	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	75.1	711	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.4	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90130	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
2.施設名	宮崎市御幸児童プール	4.利用圏域別分類	地域

5.基礎評価

評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満	B					
	品質評価の評価(偏差値)	41.7					
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)	56.7					
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	48.000	年	35.6	29.900	年
		劣化度数点(棟平均)	0.700	件	54.0	1.500	件
		耐震対応(棟平均)	3.000	点	18.9	4.800	点
		クレーム点数	5.000	点	55.2	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	1.300	件	45.0	0.700	件
	評価値	41.7					
②供給評価	②供給評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	41.000	人	55.3	30.000	人
		建物1㎡当たりの利用量率		人			人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	1.839		59.5	0.987	
	評価値	57.4					
③財務評価	③財務評価	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		市負担割合	42.960	%	58.5	65.618	%
		市負担額(ソフト)前年度比	70.000	%	55.1	93.656	%
		建物1㎡当たりの市負担額	5.933	千円	53.4	68.834	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.544	千円	56.8	2.087	千円
	評価値	56.0					
品質評価の分布図		供給評価・財務評価の分布図					
				品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90130	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市御幸児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後48年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にある 近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市大淀地域事務所、南宮崎駅自転車駐車場、宮崎市消防団赤江分団第2部消防団車庫、宮崎市消防団大淀分団第2部消防団車庫、宮崎市消防団大淀分団第1部消防団車庫、谷川水防倉庫、大淀中学校、大淀小学校、大淀団地、大坪団地、大淀東街区公園、天神山公園、大淀街区公園、宮園前街区公園、宮崎市大淀公民館、児童クラブ(大淀小学校)
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎南小学校、古城小学校、大淀中学校、大淀小学校、児童クラブ(宮崎南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(古城小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(大淀小学校・敷地内・校舎外)、宮崎南小学校(給食室)、古城小学校(給食室)、大淀小学校(給食室)ほか1施設
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道南俣宮崎線から市道淀川3の1号線を約200m南進した位置にあり、施設から約300mの場所にバス停(中村1丁目)が設置されている。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大淀) 【現在の人口】23,861人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90130	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市御幸児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	



(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90140	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市平和が丘児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	平和が丘西町20-6	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和48年7月15日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	第一種低層住居専用地域		19. 内部								
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。住宅地の中にあり、平和が丘児童公園に隣接している。標高31.1m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	- 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	693.00 m <sup>2</sup>				総延床面積	213.20 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	4276千円 (-)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1973年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	509	-	-	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>					
	開館日数	24	-	-	耐震対応(主たる建物)	-					
利用率	21	-	-	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>						
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	-		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	7,545	772.3	977	-
	使用料(減免後)②	0	-	0	-		施設のコスト	6,606	14055.3	47	-
	その他③	709	510.1	139	-		事業のコスト	189	105.0	180	-
	《参考》 使用料減免額④	0	-	0	-		人に係るコスト	750	100.0	750	-
	指定管理者の収入計⑤	0	-	0	-		指定管理者の支出計⑨	0	-	0	-
	指定管理料⑥	0	-	0	-		施設のコスト	0	-	0	-
	利用料金収入	0	-	0	-		自主事業以外のコスト	0	-	0	-
	自主事業収入	0	-	0	-		自主事業のコスト	0	-	0	-
その他収入	0	-	0	-	人に係るコスト	0	-	0	-		
収入合計⑦	709	510.1	139	-	支出合計⑩	7,545	772.3	977	-		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	-		-		28.工事請負費・修繕費	6,239	-	0	-		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	-	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	6,836	815.8	838	-		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	-	0	-	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	91	105.6	86	-		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2) 施設評価シート

1.台帳番号	90140	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市平和が丘児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		D																												
	品質評価の評価(偏差値)		38.4																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		32.4																												
① 品質評価	① 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>48.000 年</td> <td>35.6</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>1.700 件</td> <td>49.0</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.700 件</td> <td>33.4</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>38.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	48.000 年	35.6	29.900 年	劣化度数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.700 件	33.4	0.700 件	評価値		38.4	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	48.000 年	35.6	29.900 年																										
		劣化度数(棟平均)	1.700 件	49.0	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	2.700 件	33.4	0.700 件																												
評価値		38.4																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>21.000 人</td> <td>45.7</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.074</td> <td>39.8</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>42.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	21.000 人	45.7	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.074	39.8	0.987	評価値		42.8			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	21.000 人	45.7	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.074	39.8	0.987																												
評価値		42.8																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>90.600 %</td> <td>40.6</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>71.200 %</td> <td>54.8</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>1,139.333 千円</td> <td>-7.6</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>13.430 千円</td> <td>0.3</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>22.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	90.600 %	40.6	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	71.200 %	54.8	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	1,139.333 千円	-7.6	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	13.430 千円	0.3	2.087 千円	評価値		22.0			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	90.600 %	40.6	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	71.200 %	54.8	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	1,139.333 千円	-7.6	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	13.430 千円	0.3	2.087 千円																												
評価値		22.0																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90140	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標 D】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後48年経過している。【評価指標】劣化度数【原因】給水装置の劣化などが生じている。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が減少したため。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】市負担割合【原因】改修工事を行ったため【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】改修工事を行ったため【評価指標】利用量当たりの市負担額【原因】利用者数が少ないことに加え、改修工事を行ったため
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市消防団大宮分団第4部消防団車庫、消防局平和台無線中継局舎、宮崎市消防団瓜生野分団第1部消防団車庫、宮崎市平和ヶ丘児童センター、池内小学校、池内団地、平和が丘団地、東町街区公園、南街区公園、平和が丘公園、西町街区公園
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市平和ヶ丘児童センター、池内小学校、大宮小学校、大宮中学校、児童クラブ(大宮小学校・敷地内・校舎外)、池内小学校(給食室)、大宮小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	県道宮崎高鍋線の平和が丘団地入口から南西約400mの住宅街の中に位置している。周辺道路は狭い。施設から約150mの場所にバス停(平和が丘団地)が設置されている。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大宮) 【現在の人口】25,458人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90140	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市平和が丘児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	

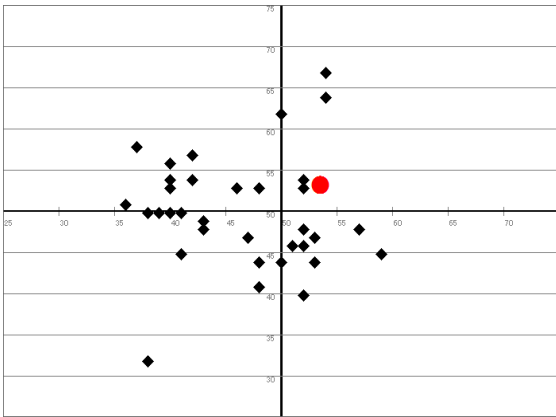
施設カルテ

令和4年度

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90150	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市跡江児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	跡江字土手下212	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	平成20年3月31日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間			19. 内部		写真						
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。主要地方道宮崎西環状線における新相生橋架橋に伴い、平成20年に移設を実施した。広大な跡江公園の敷地内にあり、駐車場もあるため立地環境が非常に良く、個人の利用が特に多い。標高8.3m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	220.24 m <sup>2</sup>				24.建物情報	総延床面積	220.24 m <sup>2</sup>			
	現況地目	公園				取得価額計(開始時簿価計)	32086千円 (—)				
	土地所有形態					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	2008年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	760	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	対応済				
利用率	32	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%		
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	146.9	846	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	—	0	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
自主事業収入	0	—	0	—	自主事業のコスト	0	—	0	—		
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	146.9	846	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	75.5	707	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	51.4	84	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90150	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設				
2.施設名	宮崎市跡江児童プール	4.利用圏域別分類	地域				
5.基礎評価							
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		A				
	品質評価の評価(偏差値)		52.6				
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		54.4				
①品質評価	耐震対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		築年数(棟平均)	14.000	年	62.6	29.900	年
		劣化度数(棟平均)	0.700	件	54.0	1.500	件
		耐震対応(棟平均)	4.300	点	41.4	4.800	点
		クレーム点数	5.000	点	55.2	4.500	点
		バリアフリー未対応(棟平均)	0.700	件	50.0	0.700	件
		評価値			52.6		
②供給評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		日あたり利用者数	32.000	人	50.8	30.000	人
		建物1㎡当たりの利用量率		人			人
		建物1㎡当たりの利用量率		台			台
		土地1㎡当たりの利用量率		人			人
		市負担額千円当たりの利用量	1.423		54.9	0.987	
		評価値			52.9		
③財務評価		指標の結果	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	
		市負担割合	42.960	%	58.5	65.618	%
		市負担額(ソフト)前年度比	70.400	%	55.0	93.656	%
		建物1㎡当たりの市負担額	1.248	千円	53.6	68.834	千円
		土地1㎡当たりの市負担額		千円			千円
		利用量当たりの市負担額	0.703	千円	56.1	2.087	千円
		評価値			55.8		
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図				
							
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)			供給評価(横) / 財務評価(縦)				

## (2)施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90150	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市跡江児童プール	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 A】品質、供給、財務の評価がいずれも高い。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	なし	
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団生目分団第6部消防団車庫、跡江水防倉庫、宮崎市跡江老人いこいの家、跡江保育所、五十鈴川排水ポンプ場、跡江公園、生目古墳群史跡公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市生目児童館、生目南中学校、生目小学校、生目中学校、生目南中学校(給食室)、生目小学校(給食室)、生目中学校(給食室)、宮崎市富吉児童プール	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	大淀川の南側沿いにある市道跡江有田線から跡江清掃工場線を約300m西進した位置にあり、跡江公園内にある。施設から約680mの場所にバス停(仮屋)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(生目) 【現在の人口】13,102人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2080年代 【建て替えの事業費(概算)】1億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)	

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90150	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市跡江児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	



(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90160	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市田代児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	田代町18-1	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和49年6月28日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	準工業地域										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。住宅地の中にあり、田代保育所がすぐ近くにある。団体の利用が多い。標高3.5m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	546.75 m <sup>2</sup>				総延床面積	214.28 m <sup>2</sup>				
	現況地目	宅地				取得価額計(開始時簿価計)	6681千円 (—)				
	土地所有形態	所有				階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1974年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	713	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
利用率	30	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	222.3	319	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	112.3	1,107	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	116.5	261	—
	その他③	709	222.3	319	—		事業のコスト	189	196.9	96	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	222.3	319	—	支出合計⑩	1,243	112.3	1,107	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	14.0	257	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	222.3	319	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	67.8	788	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0	—	0	—	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	60.4	71	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90160	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市田代児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		39.9																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		52.6																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>47.000 年</td> <td>36.4</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数点(棟平均)</td> <td>1.000 件</td> <td>52.5</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.300 件</td> <td>36.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>39.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	47.000 年	36.4	29.900 年	劣化度数点(棟平均)	1.000 件	52.5	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件	評価値		39.9	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	47.000 年	36.4	29.900 年																										
		劣化度数点(棟平均)	1.000 件	52.5	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件																												
評価値		39.9																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>30.000 人</td> <td>49.9</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.335</td> <td>53.9</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	30.000 人	49.9	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	1.335	53.9	0.987	評価値		51.9			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	30.000 人	49.9	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	1.335	53.9	0.987																												
評価値		51.9																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>93.800 %</td> <td>50.0</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>89.000 千円</td> <td>48.9</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.749 千円</td> <td>55.9</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>53.3</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	93.800 %	50.0	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	89.000 千円	48.9	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.749 千円	55.9	2.087 千円	評価値		53.3			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	93.800 %	50.0	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	89.000 千円	48.9	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	0.749 千円	55.9	2.087 千円																												
評価値		53.3																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															

## (2)施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90160	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田代児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後47年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】利用料の徴収をしていない上、国や県の補助制度も無い。
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	(旧)宮崎市食肉衛生検査所、宮崎市消防団檜分団第1部消防団車庫、出来島水防倉庫、潮見小学校、宮崎港小学校、一の宮団地、出来島街区公園、小戸街区公園、中西街区公園、高洲ふれあい広場、東部第二土地区画整理事業 仮設住宅、東部第二土地区画整理事業 仮設住宅7号棟、東部第二土地区画整理事務所、児童クラブ(潮見小学校)、宮崎市宮崎地区交流センター、宮崎東教育集会所
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市檜児童センター、宮崎東小学校、檜北小学校、潮見小学校、宮崎中学校、檜中学校、檜小学校、宮崎港小学校、児童クラブ(檜北小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(潮見小学校・敷地内・校舎外)、宮崎市檜児童プールほか6施設
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	後田川公園の田代町付近を南進約100mした住宅街の中にある。施設から約100mの距離にバス停(海洋高校)が設置されている。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(檜) 【現在の人口】42,333人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90160	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市田代児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90170	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	宮崎市希望ヶ丘児童プール	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	希望ヶ丘三丁目4	15.設置根拠法令	児童福祉法		
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例		
7.開設年月日	昭和50年7月5日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種中高層住居専用地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。希望ヶ丘児童広場に隣接している。団体の利用が少ない。標高20.4m。		19. 内部		
					
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	214.28 m <sup>2</sup>			
	現況地目	公園			
	土地所有形態				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	709	—	—	—
	開館日数	24	—	—	—
	利用率	30	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	214.28 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	7849千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1975年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	—			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		709	510.1	139	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		709	510.1	139	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	709	510.1	139	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	146.9	846	—
	施設のコスト	304	—	0	—
	事業のコスト	189	196.9	96	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,243	146.9	846	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
28.工事請負費・修繕費	36		0		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534		75.5	707
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43		51.4	84
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90170	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市希望ヶ丘児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		41.5																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		53.5																												
①品質評価	①品質評価 築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価が低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>46.000 年</td> <td>37.2</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数点(棟平均)</td> <td>1.300 件</td> <td>51.0</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>1.300 件</td> <td>45.0</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	46.000 年	37.2	29.900 年	劣化度数点(棟平均)	1.300 件	51.0	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	1.300 件	45.0	0.700 件	評価値		41.5	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	46.000 年	37.2	29.900 年																										
		劣化度数点(棟平均)	1.300 件	51.0	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	1.300 件	45.0	0.700 件																												
評価値		41.5																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>30.000 人</td> <td>49.8</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>1.328</td> <td>53.8</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>51.8</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	30.000 人	49.8	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	1.328	53.8	0.987	評価値		51.8			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	30.000 人	49.8	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	1.328	53.8	0.987																												
評価値		51.8																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>70.400 %</td> <td>55.0</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>44.500 千円</td> <td>51.3</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>0.753 千円</td> <td>55.8</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>55.2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	70.400 %	55.0	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	44.500 千円	51.3	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	0.753 千円	55.8	2.087 千円	評価値		55.2			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	70.400 %	55.0	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	44.500 千円	51.3	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	0.753 千円	55.8	2.087 千円																												
評価値		55.2																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横)／供給・財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90170	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市希望ヶ丘児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※ 平均点未満の評価 指標、平均点未満 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後46年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。
4	財務評価の分析 ※平均点未満の評 価指標、平均点未 満の原因等	なし
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団赤江分団第8部消防団車庫、岩切水防倉庫、宮崎市消防団赤江分団第6部車庫、宮崎市消防団赤江分団第11部消防団車庫、宮崎市赤江老人福祉センター、宮崎市本郷児童館、本郷小学校、国富小学校、本郷中学校、希望ヶ丘団地、国富が丘団地、尾ノ下街区公園、まなびの南街区公園、まなびの中央公園、平田街区公園、希望ヶ丘3号街区公園、希望ヶ丘2号街区公園、希望ヶ丘街区公園、西田街区公園、北俣街区公園、四季ヶ丘緑地ほか4施設
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市本郷児童館、宮崎市恒久児童館、赤江小学校、赤江東中学校、本郷小学校、国富小学校、恒久小学校、本郷中学校、赤江中学校、宮崎市恒久児童プール、宮崎市希望ヶ丘児童プールほか10施設
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同 じ)施設の有無。有 の場合は施設名	なし
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	県道中村木崎線から市道希望ヶ丘線を約600m西進した位置にあり、施設前にバス停(希望ヶ丘)が設置されている。
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(本郷) 【現在の人口】21,015人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90170	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市希望ヶ丘児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	



(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90180	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設								
2.施設名	宮崎市広原児童プール	4.利用圏域別分類	地域								
5.所在地(町名・番地)	広原字堀田1066	15.設置根拠法令	児童福祉法								
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例								
7.開設年月日	昭和52年7月15日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。								
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観									
9.指定管理期間											
10.用途地域	その他										
11.財産区分	公共用										
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。市内の児童プールの中で最北に位置している。周囲は緑に囲まれており、近隣に広原体育館がある。標高12m。										
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m							
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無							
22. 土地情報	土地面積	215.49 m <sup>2</sup>				総延床面積	215.49 m <sup>2</sup>				
	現況地目	公園				取得価額計(開始時簿価計)	9882千円 (—)				
	土地所有形態					階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート				
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				建築年(主たる建物)	1977年				
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		法定点検(主たる建物)	未対象				
		人・食	前年比%	人・食	前年比%	建物所有状況	市有物件				
	利用者数	316	—	—	—	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>				
	開館日数	24	—	—	—	耐震対応(主たる建物)	—				
利用率	13	—	—	—	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>					
25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度		26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%			千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の収入計① (②+③)	709	510.1	139	—		市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	61.7	2,016	—
	使用料(減免後)②	0	—	0	—		施設のコスト	304	26.0	1,169	—
	その他③	709	510.1	139	—		事業のコスト	189	194.8	97	—
	《参考》 使用料減免額④	0	—	0	—		人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の収入計⑤	0	—	0	—		指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	指定管理料⑥	0	—	0	—		施設のコスト	0	—	0	—
	利用料金収入	0	—	0	—		自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業収入	0	—	0	—		自主事業のコスト	0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	人に係るコスト	0	—	0	—		
収入合計⑦	709	510.1	139	—	支出合計⑩	1,243	61.7	2,016	—		
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		28.工事請負費・修繕費	36	—	0	—		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	31. 市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534	28.4	1,877	—		
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43	46.1	93	—		
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課							

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90180	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市広原児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		41.1																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		50.4																												
① 品質評価	築年数(棟平均)の評価がかなり低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>44.000 年</td> <td>38.8</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数点(棟平均)</td> <td>0.300 件</td> <td>56.0</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.300 件</td> <td>36.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>41.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	44.000 年	38.8	29.900 年	劣化度数点(棟平均)	0.300 件	56.0	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件	評価値		41.1	
		評価指標	令和3年度	偏差値	平均																										
		築年数(棟平均)	44.000 年	38.8	29.900 年																										
		劣化度数点(棟平均)	0.300 件	56.0	1.500 件																										
		耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																										
		クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																										
バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件																												
評価値		41.1																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>13.000 人</td> <td>41.8</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当たりの利用量</td> <td>0.592</td> <td>45.6</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>43.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	13.000 人	41.8	30.000 人	建物1㎡当たりの利用量率				建物1㎡当たりの利用量率				土地1㎡当たりの利用量率				市負担額千円当たりの利用量	0.592	45.6	0.987	評価値		43.7			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
日あたり利用者数	13.000 人	41.8	30.000 人																												
建物1㎡当たりの利用量率																															
建物1㎡当たりの利用量率																															
土地1㎡当たりの利用量率																															
市負担額千円当たりの利用量	0.592	45.6	0.987																												
評価値		43.7																													
指標の結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>26.500 %</td> <td>64.4</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建物1㎡当たりの市負担額</td> <td>0.167 千円</td> <td>53.7</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当たりの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当たりの市負担額</td> <td>1.690 千円</td> <td>51.7</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>57.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	26.500 %	64.4	93.656 %	建物1㎡当たりの市負担額	0.167 千円	53.7	68.834 千円	土地1㎡当たりの市負担額				利用量当たりの市負担額	1.690 千円	51.7	2.087 千円	評価値		57.1			
評価指標	令和3年度	偏差値	平均																												
市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																												
市負担額(ソフト)前年度比	26.500 %	64.4	93.656 %																												
建物1㎡当たりの市負担額	0.167 千円	53.7	68.834 千円																												
土地1㎡当たりの市負担額																															
利用量当たりの市負担額	1.690 千円	51.7	2.087 千円																												
評価値		57.1																													
品質評価の分布図																															
品質評価(横) / 供給・財務評価(縦)																															
供給評価・財務評価の分布図																															
供給評価(横) / 財務評価(縦)																															

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90180	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市広原児童プール	利用圏域別分類	地域
1	基礎評価の分析 (総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。	
2	品質評価分析 ※ 平均点未滿の評価 指標、平均点未滿 の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後44年経過している。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。	
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	【評価指標】日あたり利用者数【原因】新型コロナウイルス感染拡大を受け利用者数が減少した。【評価指標】市負担額千円当たりの利用量【原因】利用者数が減少したため。	
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評 価指標、平均点未 滿の原因等	なし	
5	定性的な要素の分 析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。	
6	半径1km以内にあ る近隣施設の有 無。有の場合は施 設名	宮崎市消防団住吉分団第3部消防団車庫、宮崎市広原体育館、萩の台汚水処理施設、宮崎市住吉老人いこいの家、萩の台公園	
7	利用圏域内にある 市の類似(利用用 途別分類が同じ) 施設の有無。有の 場合は施設名	宮崎市住吉児童センター、住吉南小学校、住吉小学校、住吉中学校、児童クラブ(住吉南小学校・敷地内・校舎外)、児童クラブ(住吉小学校・敷地内・校舎外)、住吉南小学校(給食室)、住吉小学校(給食室)、住吉中学校(給食室)	
8	利用圏域内の県、 民間の類似(利用 用途別分類が同じ) 施設の有無。有 の場合は施設名	なし	
9	防災対策施設とし ての位置づけの有 無。有の場合は内 容	なし	
10	交通事情(幹線道 路及び公共交通機 関)の状況	国道219線から市道次郎ヶ別府広原線を約400m北西進した位置にあり、施設から約400mの場所にバス停(広原)が設置されている。	
11	施設の所在地付近 における現在人口 及び将来人口の動 向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(住吉) 【現在の人口】21,658人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)	
12	将来の修繕更新に 係る見込み(建て 替えの時期・事業 費(概算))	【建て替えの時期】2050年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度	
13	その他総合評価に 勘案すべき事項 (包括外部監査の 結果・対応、他自 治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)	

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90180	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市広原児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組み ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	

(1)施設基本情報シート

1.台帳番号	90210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設		
2.施設名	宮崎市大塚台児童プール	4.利用圏域別分類	地域		
5.所在地(町名・番地)	大塚台西二丁目4-10	15.設置根拠法令	児童福祉法		
6.バス停		16.設置条例	宮崎市児童プール条例		
7.開設年月日	昭和55年8月1日	17.市の計画	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。		
8.施設運営形態(指定管理者)	直営	18. 外観			
9.指定管理期間					
10.用途地域	第一種低層住居専用地域				
11.財産区分	公共用				
12.施設概要 (設置の経緯や背景、施設の特徴や必要性など)	児童が夏季休暇により家庭や地域で生活する時間の多くなる期間中、児童の健全な遊び場を確保し、戸外活動(水浴)を助長するとともに児童の水難事故等の不慮の事故防止を図るため設置している。住宅地の中にあり、近隣に県営住宅、公団住宅がある。個人、団体ともに利用が非常に多い。標高34.4m。		19. 内部		
					
13.主な利用者	3歳から小学4年生までの児童		20.避難所の指定(標高)	— 0.00 m	
14.利用者駐車可能台数	0台		21.投票所の指定	無	
22. 土地情報	土地面積	704.96 m <sup>2</sup>			
	現況地目	宅地			
	土地所有形態	所有			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
23. 利用情報	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		人・食	前年比%	人・食	前年比%
	利用者数	940	—	—	—
	開館日数	24	—	—	—
	利用率	39	—	—	—
24. 建物情報	総延床面積	216.66 m <sup>2</sup>			
	取得価額計(開始時簿価計)	12730千円 (—)			
	階数・構造(主たる建物)	地上1階・RC・鉄筋コンクリート			
	建築年(主たる建物)	1980年			
	法定点検(主たる建物)	未対象			
	建物所有状況	市有物件			
	借受面積	0.00 m <sup>2</sup>			
	耐震対応(主たる建物)	—			
	未利用スペース	0 m <sup>2</sup>			
	25. 収入	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度
千円			前年度比%	千円	前年度比%
市の収入計① (②+③)		709	510.1	139	—
使用料(減免後)②		0	—	0	—
その他③		709	510.1	139	—
《参考》 使用料減免額④		0	—	0	—
指定管理者の収入計⑤		0	—	0	—
指定管理料⑥		0	—	0	—
利用料金収入		0	—	0	—
自主事業収入		0	—	0	—
その他収入	0	—	0	—	
収入合計⑦	709	510.1	139	—	
26. 支出	(区分・単位)	令和3年度		令和2年度	
		千円	前年度比%	千円	前年度比%
	市の支出計⑧ (指定管理料除く)	1,243	143.9	864	—
	施設のコスト	304	1688.9	18	—
	事業のコスト	189	196.9	96	—
	人に係るコスト	750	100.0	750	—
	指定管理者の支出計⑨	0	—	0	—
	施設のコスト	0	—	0	—
	自主事業以外のコスト	0	—	0	—
	自主事業のコスト	0	—	0	—
人に係るコスト	0	—	0	—	
支出合計⑩	1,243	143.9	864	—	
27.使用料減免割合(%) (④÷(②+④))	—		—		
28.工事請負費・修繕費	36		0		
29.施設経営における実質的な収入(⑦-⑥)	709	510.1	139	—	
30.指定管理者の収支差引 (⑤-⑨)	0		0		
31. 市負担	市負担額⑪ (⑧-①+⑥)	534		725	
	市負担割合(%) (⑪÷⑩)	43		51.2	
32.施設所管課	子育て支援課		33.施設主管課	子育て支援課	

(2)施設評価シート

1.台帳番号	90210	3.利用用途別分類	学校教育児童福祉施設																												
2.施設名	宮崎市大塚台児童プール	4.利用圏域別分類	地域																												
5.基礎評価																															
評価指標	A: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点以上 B: 品質:平均点未満、供給・財務:平均点以上 C: 品質:平均点以上、供給・財務:平均点未満 D: 平均点未満、供給・財務:平均点未満		B																												
	品質評価の評価(偏差値)		39.9																												
	供給評価・財務評価の評価(偏差値)		55.8																												
① 品質評価	① 品質評価 築年数(棟平均)の評価が低い。 劣化度数(棟平均)の評価が低い。 耐震対応(棟平均)の評価がきわめて低い。 バリアフリー未対応(棟平均)の評価がかなり低い。	指標の結果 築年数(棟平均) 劣化度数(棟平均) 耐震対応(棟平均) クレーム点数 バリアフリー未対応(棟平均)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>築年数(棟平均)</td> <td>41.000 年</td> <td>41.2</td> <td>29.900 年</td> </tr> <tr> <td>劣化度数(棟平均)</td> <td>2.000 件</td> <td>47.5</td> <td>1.500 件</td> </tr> <tr> <td>耐震対応(棟平均)</td> <td>3.000 点</td> <td>18.9</td> <td>4.800 点</td> </tr> <tr> <td>クレーム点数</td> <td>5.000 点</td> <td>55.2</td> <td>4.500 点</td> </tr> <tr> <td>バリアフリー未対応(棟平均)</td> <td>2.300 件</td> <td>36.7</td> <td>0.700 件</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>39.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	築年数(棟平均)	41.000 年	41.2	29.900 年	劣化度数(棟平均)	2.000 件	47.5	1.500 件	耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点	クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点	バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件	評価値		39.9	
			評価指標	令和3年度	偏差値	平均																									
			築年数(棟平均)	41.000 年	41.2	29.900 年																									
			劣化度数(棟平均)	2.000 件	47.5	1.500 件																									
			耐震対応(棟平均)	3.000 点	18.9	4.800 点																									
			クレーム点数	5.000 点	55.2	4.500 点																									
バリアフリー未対応(棟平均)	2.300 件	36.7	0.700 件																												
評価値		39.9																													
② 供給評価	② 供給評価 建築物1㎡当りの利用量率 建築物1㎡当りの利用量率 土地1㎡当りの利用量率 市負担額千円当りの利用量	指標の結果 日あたり利用者数 建築物1㎡当りの利用量率 建築物1㎡当りの利用量率 土地1㎡当りの利用量率 市負担額千円当りの利用量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日あたり利用者数</td> <td>39.000 人</td> <td>54.5</td> <td>30.000 人</td> </tr> <tr> <td>建築物1㎡当りの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築物1㎡当りの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当りの利用量率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>市負担額千円当りの利用量</td> <td>1.760</td> <td>58.6</td> <td>0.987</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>56.6</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	日あたり利用者数	39.000 人	54.5	30.000 人	建築物1㎡当りの利用量率				建築物1㎡当りの利用量率				土地1㎡当りの利用量率				市負担額千円当りの利用量	1.760	58.6	0.987	評価値		56.6	
			評価指標	令和3年度	偏差値	平均																									
			日あたり利用者数	39.000 人	54.5	30.000 人																									
			建築物1㎡当りの利用量率																												
			建築物1㎡当りの利用量率																												
			土地1㎡当りの利用量率																												
市負担額千円当りの利用量	1.760	58.6	0.987																												
評価値		56.6																													
③ 財務評価	③ 財務評価 建築物1㎡当り市負担額の評価が低い。	指標の結果 市負担割合 市負担額(ソフト)前年度比 建築物1㎡当りの市負担額 土地1㎡当りの市負担額 利用量当りの市負担額	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>令和3年度</th> <th>偏差値</th> <th>平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市負担割合</td> <td>42.960 %</td> <td>58.5</td> <td>65.618 %</td> </tr> <tr> <td>市負担額(ソフト)前年度比</td> <td>68.700 %</td> <td>55.3</td> <td>93.656 %</td> </tr> <tr> <td>建築物1㎡当りの市負担額</td> <td>89.000 千円</td> <td>48.9</td> <td>68.834 千円</td> </tr> <tr> <td>土地1㎡当りの市負担額</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>利用量当りの市負担額</td> <td>0.568 千円</td> <td>56.7</td> <td>2.087 千円</td> </tr> <tr> <td>評価値</td> <td></td> <td>54.9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	令和3年度	偏差値	平均	市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %	市負担額(ソフト)前年度比	68.700 %	55.3	93.656 %	建築物1㎡当りの市負担額	89.000 千円	48.9	68.834 千円	土地1㎡当りの市負担額				利用量当りの市負担額	0.568 千円	56.7	2.087 千円	評価値		54.9	
			評価指標	令和3年度	偏差値	平均																									
			市負担割合	42.960 %	58.5	65.618 %																									
			市負担額(ソフト)前年度比	68.700 %	55.3	93.656 %																									
			建築物1㎡当りの市負担額	89.000 千円	48.9	68.834 千円																									
			土地1㎡当りの市負担額																												
利用量当りの市負担額	0.568 千円	56.7	2.087 千円																												
評価値		54.9																													
品質評価の分布図			供給評価・財務評価の分布図 																												
	品質評価(横)／供給・財務評価(縦)			供給評価(横)／財務評価(縦) 																											

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価		令和4年度
台帳番号	90210	利用用途別分類 学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市大塚台児童プール	利用圏域別分類 地域
1	基礎評価の分析(総括)	【評価指標 B】耐震対応、築年数、バリアフリー未対応の評価が低いため品質の評価が低い。
2	品質評価分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】築年数【原因】築後47年経過している。【評価指標】劣化度点数【原因】更衣室の老朽化や排水設備の劣化により評価が低い。【評価指標】耐震対応【原因】耐震診断をしていない。【評価指標】バリアフリー未対応【原因】バリアフリー化されていない。
3	供給評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	なし
4	財務評価の分析 ※平均点未滿の評価指標、平均点未滿の原因等	【評価指標】建物1㎡当たりの市負担額【原因】利用料の徴収をしていない上、国や県の補助制度も無い。
5	定性的な要素の分析(総括)	同じ用途の施設が市内に14箇所点在している。
6	半径1km以内にある近隣施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大塚地域事務所、宮崎市大塚台地域事務所、宮崎市消防団大塚分団第7部消防団車庫、宮崎市消防団生目分団第1部消防団車庫、大塚台地域福祉コミュニティセンター、宮崎市大塚児童センター、宮崎市大塚台児童センター、生目南中学校、大塚小学校、大塚中学校、宮崎西小学校、大塚台団地、大塚台1号街区公園、大塚台3号街区公園、大塚台2号街区公園、大塚台5号街区公園、大塚台4号街区公園、大塚台公園、大塚台7号街区公園ほか6施設
7	利用圏域内にある市の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	宮崎市大塚台児童センター、宮崎西小学校、宮崎西小学校(給食室)
8	利用圏域内の県、民間の類似(利用用途別分類が同じ)施設の有無。有の場合は施設名	なし
9	防災対策施設としての位置づけの有無。有の場合は内容	なし
10	交通事情(幹線道路及び公共交通機関)の状況	市道大塚中通線から市道江平出水口線を約100m南進した位置にあり、施設から約200mの場所にバス停(西2丁目)が設置されている。
11	施設の所在地付近における現在人口及び将来人口の動向	宮崎市全体 【現在の人口】4,00,775人(令和3年10月1日現在 現住人口) 【将来の人口】353,770人(令和27年10月1日時点 国立社会保障・人口問題研究所推計値) 地域自治区(大塚台) 【現在の人口】6,290人(令和3年10月1日現在 住基人口による算出)
12	将来の修繕更新に係る見込み(建て替えの時期・事業費(概算))	【建て替えの時期】2060年代 【建て替えの事業費(概算)】0.9億円程度
13	その他総合評価に勘案すべき事項(包括外部監査の結果・対応、他自治体との比較など)	①包括外部監査では特に指摘はない。 ②県内で設置している市 都城市(10ヶ所)、小林市(8ヶ所)、延岡市(3ヶ所) ③九州県庁所在地で設置している市 熊本市(1ヶ所)

## (2) 施設評価シート

令和4年度施設評価			令和4年度
台帳番号	90210	利用用途別分類	学校教育児童福祉施設
施設名	宮崎市大塚台児童プール	利用圏域別分類	地域
14	アンケート(市民)	【パブリックコメント】意見なし	
15	アンケート(施設利用者)	対象外	
16	総合評価(総括)	建物の評価は「継続」とし、機能の評価も「継続」とする。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
17	建物の評価 ※継続、改修・更新、処分(廃止、売却・譲渡)から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
18	建物の評価の理由	品質評価において、築年数及び耐震対応の評価が低い、あと3年から5年は現状どおり施設を維持できるため、本施設を継続する。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
19	将来の修繕更新費用を削減する具体的な取組 ※17が「処分」以外のとき	部分的な保全を行い、施設の長寿命化を図る。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
20	機能の評価 ※継続、改善、統合・集約、変更、移転、廃止から選択	継続。ただし、大規模修繕等の必要が生じた場合は、廃止も含めて検討する。	
21	機能の評価の理由	児童及び保護者にとって、夏休みの安全な戸外遊びの場所となっており、児童の体力向上の場にもなっている。	
22	将来の市負担額(ソフト)を削減する具体的な取組 ※20が「廃止」以外のとき	これまで開設時期の見直し等により、人件費及び光熱水費などの運営費の削減に努めてきた。今後、児童プールの集約化や水遊びができる施設の整備による機能の補完について検討していく。	